

## 「世界一大きな授業」参加のステップ

### 1. 参加登録をする (2017年5月25日〆切)

ウェブサイトの申込フォームよりお申込みください。

### 2. 教材をダウンロード&授業の準備をする

自動送信されるお申込み完了メールに記載されているURLから、教材をダウンロードしてください。  
対象者や時間に合わせて、準備をしてください。授業時間や単位数は自由です。

### 3. いよいよ「授業」を実施! (2017年4月15日~5月31日)

キャンペーン期間に教材を使って「世界一大きな授業」を実施してください。

### 4. 実施報告を送る (2017年6月30日まで)

授業の終了後、ウェブサイトの実施報告フォームから実施日、人数、感想、写真をお送りください。

報告を送ってくださった方には、参加証をメールでお届けします。

感想や写真はウェブサイトや報告書でご紹介させていただく場合があります。

### 5. 報告書が届きます

8月下旬に事務局から、お申込み1件につき1枚、報告書を郵送でお送りします。ぜひ、教室などに掲示してください。



## 参加申込

ウェブサイトのフォームよりお申込みください

<http://www.jnne.org/gce/>



世界一大きな授業

検索

## ご寄付のお願い!

教材の作成、キャンペーンの運営には、年間およそ100万円の資金が必要です。皆さまのご寄付でのご協力をお願いします。

寄付金は1口1,000円より募集しています。

【みずほ銀行】新宿西口支店 普通4839927

教育協力NGOネットワーク

【ゆうちょ銀行】記号10110(店番018)

番号43575271(普通預金4357527)

教育協力NGOネットワーク

※領収書は銀行の振込票をもって代えさせていただきます。活動・会計報告は9月末に「世界一大きな授業」ウェブサイトで掲載します。

## 参加した「生徒」たちの声(2016年)

- 文字の読み書きができない人がいることは知っているつもりでしたが、実際は想像よりもかなり多く、お金も必要なのだとわかりました。他人事ではなく、行動しなければならぬと感じました。(北海道上士幌高校)
- これまで、日本は先進国として多額の教育支援を行っていると思っていたが、日本の基礎教育分野への援助額は他国と比べても少ないことを知り驚いた。(新潟県三条市立下田中学校)
- 途上国側が本当にしてほしい援助と現在先進国がしている援助にはズレがあると感じた。ペンや机があっても、先生がいないと勉強はできない。私より年下の子どもたちが世界を変えようと動いていることに私も頑張ろうと励まされた。(オックスファムクラブ高知県立大学)
- 私は小学校に通えるのは、当たり前だと思っていたけれども、この授業を受けて、学校に行くことに感謝したいと思いました。教育が日本になかったら、人々はさまざまなことになやんで困ると思います。(熊本県宇城市立小川小学校)
- 今この時間を必死に授業に取り組んで、立派な大人になることこそが、自分たちのできること。(沖縄県立宜野座高校)

## 「世界一大きな授業」2017

主催：教育協力NGOネットワーク (JNNE) <途上国で教育協力を行うNGO22団体のネットワーク>

共催：プラン・インターナショナル・ジャパン

特別協力：(公財)ベネッセこども基金

助成：大竹財団

協力：地球対話ラボ

後援：文部科学省、外務省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、日本ユネスコ国内委員会、ユネスコ・アジア文化センター、ESD活動支援センター、動く→動かす、国際協力機構、国際連合広報センター、ガールスカウト日本連盟、児童労働ネットワーク

実施団体：「世界一大きな授業」は教育協力NGOネットワーク (JNNE) に参加する次の団体が実施しています

オックスファム・ジャパン、開発教育協会、シャンティ国際ボランティア会、日本YMCA同盟、

プラン・インターナショナル・ジャパン、フリー・ザ・チルドレン・ジャパン、ラオスのこども、ワールド・ビジョン・ジャパン

## お問合せ・お申込み

〒154-8545 東京都世田谷区三軒茶屋2-11-22-11F

プラン・インターナショナル・ジャパン内「世界一大きな授業」事務局

E-mail: [gce.japan.campaign@gmail.com](mailto:gce.japan.campaign@gmail.com) URL: <http://www.jnne.org/gce/> Facebook: <http://www.facebook.com/jnne.gce>

